

益気神社の五輪塔、宝篋印塔、宝塔



文化財愛護シンボルマーク

ますけ（ますき）じんじゃのごりんとう、ほうきょういんとう、ほうとう

名 称	益気神社の五輪塔、宝篋印塔、宝塔	時 代	五輪塔 南北朝時代 貞和5 (1349) 年 宝篋印塔 室 町 時 代 文安4 (1447) 年 宝 塔 室町時代初期 15世紀前期
別 称	益気の石造五輪塔、石造宝篋印塔、 石造宝塔 益気神社裏の石造五輪塔、石造宝篋印 塔、石造宝塔	所 在 地	加古川市平荘町池尻字益気 350 番地の 3
数 量	3 基	所有者等	池尻町内会
寸 法	五輪塔 高 176.5cm (基礎 - 相輪) 宝篋印塔 高 124.9cm (基壇 - 宝珠) 宝塔 高 142.3cm (基礎 - 相輪)	指 定	兵庫県指定文化財
材 質	各 石造 凝灰岩 (竜山石) 製	指定分類	建造物
		指定名称	石造五輪塔 1 基、石造宝篋印塔 1 基、 石造宝塔 1 基
		指定年月日	昭和 50 (1975) 年 3 月 18 日



益気神社の五輪塔、宝篋印塔、宝塔

五輪塔各部寸法

高 176.5cm (基礎部から宝珠部まで)
宝珠・請花部 高 45.6cm 最大径 32.6cm
(うち宝珠部高 28.7cm、請花部高 16.9cm、宝珠部最大径 31.0cm)
笠部 高 36.9cm 各辺最大 53.6cm
塔身部 高 49.0cm 最大径 62.3cm
基礎部 高 45.0cm 各辺 64.8cm

宝篋印塔各部寸法

高 124.9cm (基壇部から相輪部まで)
基壇を除く高 104.4cm
相輪部 現高 28.7cm 最大径 14.9cm
(うち九輪部現高 17.1cm、伏鉢部 高 11.6cm、九輪部最大径 14.0cm)
笠部 高 27.7cm 隅飾部先各辺 35.1cm
軒部各辺 33.9cm
塔身部 高 17.5cm 各辺 20.7cm
基礎部 高 30.5cm 各辺 36.8cm
基壇部 高 20.5cm 幅 63.4cm

宝塔各部寸法

高 142.3cm (基礎部から相輪部まで)
相輪部 現高 38.6cm 最大径 17.1cm
(うち九輪部現高 19.9cm、請花部 高 6.1cm、伏鉢部高 12.6cm、九輪部最大幅 14.5cm、請花部最大径 16.1cm、伏鉢部最大径 17.1cm)
笠部 高 27.8cm 各辺 52.6cm
塔身部 高 34.5cm 最大径 44.4cm
基礎部 高 41.4cm 各辺 53.0cm

地蔵寺山の南西の独立した小さな丘陵上に益気神社があります。その社殿の裏、北側約80mのところに3基の石塔が南面して建っています。向かって左から五輪塔、宝篋印塔、宝塔が並び、すべて凝灰岩（竜山石）製の石塔で、五輪塔には貞和5（1349）年、宝篋印塔には文安4（1447）年の銘文があります。

五輪塔は、二重の切石基壇の上に建っていて、全体によく整ったもので保存状態も良好です。下から地輪、水輪、火輪、風輪、空輪の各部の四面に五大思想を表す四方種子を刻み、基礎の正面向かって右に「貞和五（1349）年己丑十一月日」、左に「一結衆」の銘文があります。

宝篋印塔は、全体としてよく整ったもので、中央複弁二葉の反花式基壇の上に建っています。基礎は、上部に中央複弁一葉と隅の複弁の間に小花を付ける反花座を設け、各側面に輪郭を巻いた中に格狭間を彫り、正面の輪郭の向かって右に「文安四（1447）年」、左に「丁卯十月十三日」と大きな文字を彫った銘文がよく残っています。塔身は、各面にやや大きめの月輪を彫り出し、中に金剛界四仏の種子を刻んでいます。笠は、下二段上六段の定型式で、隅飾は二弧で輪郭を巻いています。相輪は、第7輪目から上を欠失しています。

宝塔は、全体に簡略化した意匠をしています。延石の基壇の上に建ち、基礎は、正面だけに輪郭を巻いた内部が素面の格狭間を彫っています。塔身は、軸部、勾欄、首部の3部からなっていて、扉形などの表現がなく全面が素面です。笠は、降棟を屋根の四方にのみ表し、軒下には一段の垂木

形を彫り出しています。相輪は、九輪の第4輪目より上を欠失しています。銘文がないものの、全体の形状や手法からみて室町時代初期に造立されたものと考えられています。

〔五輪塔銘文〕

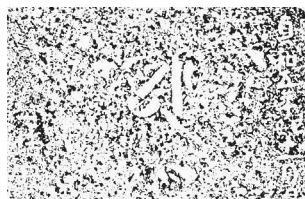
一結衆
貞和五年
丑乙十一月日

〔宝篋印塔銘文〕

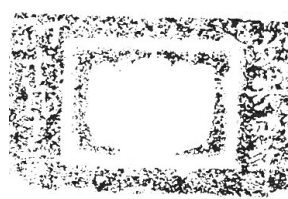
文安四年
卯丁十月十三日

（文・写真・採寸／宮本）

〔五輪塔基礎銘文拓影〕



〔宝篋印塔基礎銘文拓影〕



〔宝篋印塔塔身種子拓影〕



アク 不空成就如来
キリーク 阿弥陀如来
タラク 宝生如来
ウーン 阿闍如来

拓本／『加古川市史 第7巻』から転載（一部トリミングあり）

●参考文献

『昭和49年度指定兵庫県文化財調査報告書』兵庫県教育委員会（1975年）

『加古川市史 第7巻』加古川市（1985年）

●キーワード

建造物 石塔 五輪塔 宝篋印塔 宝塔 種子 池尻益気 益気神社 貞和5年 文安4年

●所在地／兵庫県加古川市平荘町池尻字益気350番地の3

●交通／JR神戸線「加古川駅」南口発神姫バス「都台」行本村バス停から北西へ徒歩6分
車は加古川バイパス「加古川ランプ」から北へ5km

編集・発行：加古川市教育委員会 文化財調査研究センター

令和4年3月31日（2022.03.31／1000）

